



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6769 URL <https://www.thine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 康裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男 TEL 03 (5217) 6660
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,234	△33.2	△374	—	△402	—	△328	—
2019年12月期第3四半期	3,344	42.9	△4	—	5	△95.9	△30	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △385百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 342百万円 (358.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△30.42	—
2019年12月期第3四半期	△2.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	9,126	8,631	92.6
2019年12月期	9,840	9,078	90.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 8,447百万円 2019年12月期 8,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,892	△40.8	△707	—	△756	—	△700	—	△64.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正に関しましては、本日（2020年11月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	12,340,100株	2019年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,530,037株	2019年12月期	1,530,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	10,810,066株	2019年12月期3Q	10,810,079株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による企業活動の制約や外出規制等による個人消費の落ち込みにより企業収益の悪化が見られ、経済活動の停滞が懸念され先行きの不透明感が広がりました。

このような環境の下で、当社グループは当期より2022年を目標年次とする中期経営戦略「5G&Beyond」をスタートしました。戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長ユースケースで生み出す粗利金額の倍増を目標とし、またさらに戦略5ゴール目標を超えた長期成長に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では主に国内市場向けの製品出荷が低調に推移し、計画を下回って推移しました。AIOT事業においても一部で製品の納期後倒しや顧客開発案件の遅れ等により当初の見込みを下回って推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、22億34百万円（前期比33.2%減）となり、売上総利益は11億28百万円（前期比35.6%減）となりました。販売費及び一般管理費については、前期より引き続き新しい市場のニーズに対応するための積極的な研究開発投資（6億2百万円、前期比23.3%減）を行い、販売費及び一般管理費全体として、15億3百万円（前期比14.4%減）となりました。これらの結果、営業損失3億74百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常損失4億2百万円（前年同期は経常利益5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億28百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

(単位：百万円)

		2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 第3四半期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	1,238	2,219	△44.2
	営業利益	△340	44	—
AIOT事業	売上高	995	1,124	△11.4
	のれん償却前 営業利益	63	48	30.0
	営業利益	△34	△49	—
合計	売上高	2,234	3,344	△33.2
	営業利益	△374	△4	—

(LSI事業)

当第3四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、主に国内市場の顧客向け製品出荷が低調となり、計画を下回って推移しました。産業機器市場向けビジネスは、コロナ禍によりオフィス関連需要とパチンコ等関連需要が低迷する中で、主に国内市場向けのOA機器向けおよびアミューズメント機器向けの製品出荷が大きく落ち込んだ一方、米国の産業機器向け出荷は増加し、全体として前期比45%の減少となりました。同市場向けのビジネスはLSI事業の売上全体の約60%を占めております。車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約26%を占めております。国内顧客向けの製品出荷が低調となった一方で、中国車載アフターマーケット向け製品出荷や北米顧客向けの車載純正品向け製品出荷が増加し、前期比27%の減少となりました。民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約15%を占めております。国内顧客向けのモバイル機器向け製品の出荷が大幅に減少した一方、中国市場向け製品出荷は改善し、全体で前期比57%の減少となりました。これらの結果、LSI事業の売上高は12億38百万円（前期比44.2%減）、売上総利益は7億85百万円（前期比43.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、前期より引き続き新しい市場ニーズに対応した研究開発を積極的に実施しました。車載カメラ、医療用カメラ、認証用カメラ等のニーズに対応するための高速インターフェースV-by-One®HS新製品ラインアップや画像処理ソリューションの開発、複数信号を束ねてケーブル本数の抜本削減を可能とする高速通信トランシーバ製品の開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、研究開発費5億50百万円を計上しました。なお、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発は、昨年度に採択されました国立研究機関および諸大学との共同研究プロジェクトとして開発を行っており、研究開発費用の一部を総務省にご負担頂いております。

これらの結果、LSI事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は3億40百万円（前年同期は営業利益44百万円）となりました。

(AIOT事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は、一部の顧客向け製品で納期後倒しや開発案件の遅延等に起因する売上計上の後倒しが発生し、前年同期比減少となりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大予防に貢献する非接触型AI顔認証検温システムの販売を2020年3月より開始しました。同システムはホール型、サイネージ型およびゲート型の3種類のシステムをラインアップし、当第3四半期累計期間において200台を超える納入実績をあげ、AIOT事業の売上高の約23%を占め売上貢献しました。これらの結果、AIOT事業の売上高は9億95百万円（前期比11.4%減）、売上総利益は3億43百万円（前期比6.4%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、前期より引き続きAI・IoTを活用する新ニーズの拡大や第5世代移动通信（5G）による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えて、SIMCom Wireless Solutions社との提携を通じたAI・IoTソリューションの開発に取り組み、通信型ドライブレコーダなどに向けた研究開発を行いました。さらに非接触型AI顔認証検温システムなどAIソリューションの研究開発も進め、全体として研究開発費52百万円を計上しました。また、同事業におけるM&Aに伴うのれんの償却額97百万円等を計上しました。

これらの結果、AIOT事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は34百万円（前年同期は営業損失49百万円）となりました。なお、前述ののれん償却前の営業利益は63百万円（前期比30.0%増）となります。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権が5億27百万円減少した一方、税金等調整前四半期純損失を3億3百万円計上し、その他の流動資産が1億67百万円増加したことや仕入債務が1億32百万円減少したこと等により2億77百万円のマイナスとなりました。（前年同期は44百万円のマイナス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入等により21億35百万円のプラスとなりました。（前年同期は2億1百万円のマイナス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により97百万円のマイナスとなりました。（前年同期は97百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として16億99百万円増加して当第3四半期連結会計期間末残高は70億29百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算定が困難なため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報および予測に基づき連結業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年11月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,329,928	7,029,698
売掛金	848,434	327,028
商品及び製品	146,477	223,501
仕掛品	62,358	64,069
原材料	31,715	71,529
その他	105,552	314,024
流動資産合計	6,524,466	8,029,852
固定資産		
有形固定資産	105,056	105,445
無形固定資産		
のれん	521,358	423,603
その他	7,167	7,062
無形固定資産合計	528,526	430,666
投資その他の資産		
投資有価証券	2,556,309	439,440
繰延税金資産	14,555	8,382
その他	111,732	113,118
投資その他の資産合計	2,682,597	560,940
固定資産合計	3,316,180	1,097,052
資産合計	9,840,646	9,126,904
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,004	166,441
未払法人税等	50,605	6,212
賞与引当金	50,595	17,857
役員賞与引当金	10,977	—
資産除去債務	—	16,095
その他	208,607	156,054
流動負債合計	619,791	362,661
固定負債		
繰延税金負債	3,367	—
退職給付に係る負債	21,139	19,563
資産除去債務	25,073	26,066
その他	92,567	87,235
固定負債合計	142,148	132,865
負債合計	761,939	495,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,286,608	1,286,608
利益剰余金	8,749,324	8,323,170
自己株式	△2,291,882	△2,291,902
株主資本合計	8,919,316	8,493,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,762	△81,383
為替換算調整勘定	38,690	36,182
その他の包括利益累計額合計	23,927	△45,200
新株予約権	122,994	158,025
非支配株主持分	12,468	25,409
純資産合計	9,078,707	8,631,377
負債純資産合計	9,840,646	9,126,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,344,293	2,234,004
売上原価	1,591,522	1,105,068
売上総利益	1,752,771	1,128,936
販売費及び一般管理費	1,757,052	1,503,936
営業損失(△)	△4,281	△374,999
営業外収益		
受取利息	11,573	5,542
受取配当金	37,042	12,934
投資事業組合運用益	—	9,631
雑収入	5,072	16,911
営業外収益合計	53,688	45,019
営業外費用		
為替差損	40,902	72,076
雑損失	2,650	77
営業外費用合計	43,553	72,153
経常利益又は経常損失(△)	5,854	△402,133
特別利益		
投資有価証券売却益	—	99,093
新株予約権戻入益	126	36
特別利益合計	126	99,129
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,980	△303,003
法人税、住民税及び事業税	21,888	6,949
法人税等調整額	8,592	6,173
法人税等合計	30,480	13,123
四半期純損失(△)	△24,500	△316,126
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,893	12,736
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,393	△328,862

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△24,500	△316,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	383,156	△66,620
為替換算調整勘定	△16,266	△2,507
その他の包括利益合計	366,889	△69,128
四半期包括利益	342,389	△385,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,878	△397,772
非支配株主に係る四半期包括利益	5,510	12,517

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	5,980	△303,003
減価償却費	22,707	31,100
のれん償却額	97,754	97,754
株式報酬費用	43,012	35,066
新株予約権戻入益	△126	
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,639	△32,737
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,546	△1,575
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,389	△10,977
投資事業組合運用損益(△は益)	—	△9,631
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△99,093
受取利息及び受取配当金	△48,616	△18,477
支払利息	184	66
為替差損益(△は益)	42,275	53,299
売上債権の増減額(△は増加)	△157,490	527,453
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,474	△118,560
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△56,003	△167,460
仕入債務の増減額(△は減少)	126,380	△132,804
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△147,008	△69,148
その他	2,786	△2,567
小計	△55,840	△221,297
利息及び配当金の受取額	49,044	19,437
利息の支払額	△184	△66
法人税等の支払額	△37,687	△75,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	△44,666	△277,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	
固定資産の取得による支出	△16,808	△17,558
固定資産の売却による収入	1,043	—
敷金の差入による支出	△3,935	△1,003
敷金の回収による収入	359	1,206
投資有価証券の取得による支出	△15,760	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,118,087
投資有価証券の償還による収入	37,314	6,784
投資事業組合からの分配による収入	16,300	30,195
子会社株式の取得による支出	△219,984	—
その他	87	△1,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,383	2,135,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△97,290	△97,290
その他	△95	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,386	△97,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59,407	△61,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△402,844	1,699,770
現金及び現金同等物の期首残高	5,515,652	5,329,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,112,807	7,029,698

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。